

星にみちびかれて



第26回 ほしのいえ 講演とミニライブ

遠い道を歩き続ける

2019年12月2日(月) 18:30~21:00(開場18:00)

ムーブ町屋3Fホール (地下鉄千代田線・京成線 町屋駅下車1分)

集会協力券 2000円

講演
前川喜平さん

ミニライブ
瀬田の丘ゴスペルファミリー

トーンチャイム
(菅野眞子指揮 シルベスタークワイマー)

主催:「ほしのいえの集い」実行委員会

問い合わせ先

「ほしのいえ」TEL/FAX:03-3805-6237(火・木・土 13時~16時)
携帯:090-4396-7446(三上)

振替口座 番号:00170-2-556971 口座名:ほしのいえ

ホームページ <http://hosinoie.net/> メールアドレス info@hosinoie.net

第26回 ほしのいえ 講演とミニライブ 遠い道を歩き続ける

1980年代、山谷で活動していたどのグループも共有できたのは、仲間のおじさんたちの「過去を聞いてはいけない」ということだったと思います。

時を経て、運動を担う第2世代とも言うべき若い世代の地道な活動（隅田川医療相談会・フードバンク）が、おじさんたちから信頼を得て、彼らが自らの過去を語ってくれるようになった、そして、それが小冊子「あじいる」として結実したのです。「ホームレス」「野宿者」としてひとくくりではなく、私しかない生きた人生を証したのです。人と人が信頼すればわかりあえる、認め合えることを鮮やかに証明しました。

しかし、山谷地域での、このしっかりとした信頼感の構築をあざ笑うかのように、戦後、皆で作り上げてきた民主主義の原則の破壊がすすんでいます。権力者は国民を扇動し、戦争に突き進みそして敗戦に至った、あのもと来た道へと舵を切っています。「誰もが大切にされなければならない」という当たり前のことば言葉に、行動に、しにくくなっています。

私たち人間を信じます。人間社会の問題は人間の力で解決できる。そう信じて小さな歩みを続けます。

私たちの集いに、元文部科学事務次官の前川喜平さんが来てくださいます。

「安倍政権下での教育」をお話くださいます。共に考え、行動する集いにしたいと願っています。



出演者紹介

前川喜平さん

1955年奈良県生まれ。1979年東京大学法学部卒業、文部省（現文部科学省）に入省。大臣官房長、初等中等教育局長などを経て、2016年文部科学事務次官。2017年退官。現在、福島市と厚木市の自主夜間中学でスタッフを務める。現代教育行政研究会代表。著書に『面従腹背』毎日新聞出版、『前川喜平「官」を語る』宝島社、『ハッキリ言わせていただきます！』（谷口真由美氏との対談）集英社、『同調圧力』（望月衣塑子氏らとの共著）角川新書など。

2019年12月2日(月)
18:30~21:00 (開場18:00)
ムーブ町屋3Fホール
(地下鉄千代田線・京成線 町屋駅下車1分)
<http://www.hosinoie.net/>

瀬田の丘ゴスペルファミリー



2001年カトリック瀬田教会の信者のグループとして生まれ、南アフリカヨハネスブルクで、エイズと苦しむ人々を支援しておられた根本昭雄神父（フランシスコ会）を迎える、毎年チャリティーコンサートを催す。ウガンダのカンパラにあるリーチアウト（エイズ患者の自助グループ）を支援し訪ね、2006年ジョゼフ神父（アフリカマリア教会）とリーチアウトのスタッフ4名を日本に招き、「講話とゴスペル」を催す。アフリカ支援の後、同じく信徒グループ「平和を願う会」と共に、平和の問題に焦点を当て、沖縄、憲法9条、原発、福島等に關し、講師を招き「講話とゴスペル」を続ける。

2017年には、広島を拠点に世界に向け核兵器廃絶運動に取り組んでいるスティーブン・リーパー氏を招く。今年はリーパー氏の三回目の講話で、「核のない戦争のない愛と平和の世界をめざして」を10月12日に催す。

